

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------|---|--|--|--|-----------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（交通施設：定置式凍結防止剤散布装置）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市新屋東小倉724番7地先 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>今回設置を予定しているのは、昨年度防衛関係事業の補助金で新規に整備を行った市道道の駅線と小倉山中サス線の交差部分の南側の場所である。小倉山中サス線の南側は令和3年度において富士吉田・忍野スマートインターチェンジの開設が予定されており、開通後は交通量の増加が見込まれる。また小倉山中サス線の道路勾配は7%程度あり、現地は国道138号に向かって右カーブとなっており、冬季に路面の凍結が生じると大変危険である。これらを考慮して新規に定置式凍結防止剤散布装置を設置し、道路交通の安全を図り快適な市民生活を確保する。</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 定置式凍結防止剤散布装置の設置 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年8月から令和3年11月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 3,300,000 | 円 | | | | 円 |
| | 交付金額 | 2,800,000 | | | | | 2,800,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>本事業で定置式凍結防止剤散布装置を設置したことにより、現時点で事故が起きたという報告はなく、道路利用者の安全を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のHPに掲載 ・市の広報誌に掲載 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 当施設を長期に渡って使えるように定期的なメンテナンスを怠ることなく実施し、快適な市民生活を確保するため、冬季シーズンには必ず稼働を行う。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|---|--|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（交通施設：東裏2号線舗装補修工事）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市下吉田地内 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 当該路線は舗装補修計画において優先度が高い路線であり、現在の路面状況は計画耐用年数を過ぎた事により、経年劣化による舗装面のひび割れや損傷が多く騒音が発生している状況である。また、路面標示が消えている区間が広く道路交通の安全面へ影響を与えており、沿線の住民からも工事の要望があることから早急に工事を実施し、道路交通の充実を図り快適な市民生活を確保する。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 舗装 L=250.0m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年10月から令和4年1月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | | 円 | 円 | | | | 円 |
| | 事業費 | 20,420,400 | | | | | 20,420,400 |
| | 交付金額 | 11,987,000 | | | | | 11,987,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>舗装補修の実施後、路面の平坦性の向上が確認され車両の走行性、安全性が確保できた。また路面排水の状態も改善した。</p> <p>本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後、路面性状調査の対象路線として舗装の劣化状況を注視していく。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|---|--|--|--|-----------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（交通施設：上吉田東裏通り線舗装補修工事）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市上吉田地内 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 当該路線は舗装補修計画において優先度が高い路線であり、現在の路面状況は計画耐用年数を過ぎた事により、経年劣化による舗装面のひび割れや損傷が多く騒音が発生している状況である。また、路面標示が消えている区間が広く道路交通の安全面へ影響を与えており、沿線の住民からも工事の要望があることから早急に工事を実施し、道路交通の充実を図り快適な市民生活を確保する。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 舗装 L=304.8m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年8月から令和3年11月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 13,623,500 | 円 | | | | 円 13,623,500 |
| | 交付金額 | 13,000,000 | | | | | 13,000,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>舗装補修の実施後、路面の平坦性の向上が確認され車両の走行性、安全性が確保できた。また路面排水の状態も改善した。</p> <p>本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後、路面性状調査の対象路線として舗装の劣化状況を注視していく。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|---|--|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（交通施設：明見東通り線舗装補修工事）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市大明見地内 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>当該路線は舗装補修計画において優先度が高い路線であり、現在の路面状況は計画耐用年数を過ぎた事により、経年劣化による舗装面のひび割れや損傷が多く騒音が発生している状況である。また、路面標示が消えている区間が広く道路交通の安全面へ影響を与えており、沿線の住民からも工事の要望があることから早急に工事を実施し、道路交通の充実を図り快適な市民生活を確保する。</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 舗装 L=440.0m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年9月から令和4年1月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | | 円 | 円 | | | | 円 |
| | 事業費 | 36,663,000 | | | | | 36,663,000 |
| | 交付金額 | 21,423,000 | | | | | 21,423,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>舗装補修の実施後、路面の平坦性の向上が確認され車両の走行性、安全性が確保できた。また路面排水の状態も改善した。</p> <p>本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載 ・ 市のHPに掲載 ・ 市の広報誌に掲載 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後、路面性状調査の対象路線として舗装の劣化状況を注視していく。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|--|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西吉田配水区外1配水区配水管工事）整備事業 | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市新西原地内 | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和40、50年代に布設され、老朽化が著しい状況であります。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっております。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図るものです。 | | | | | |
| 補助事業の内容 | 配水管工事 DIP φ75mm～φ250mm L=1205.6m | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年9月から令和4年3月まで | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | 計 |
| | | 円 | | | | 円 |
| | 事業費 | 80,545,300 | | | | 80,545,300 |
| | 交付金額 | 63,500,000 | | | | 63,500,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> 耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。 立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。 | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。 | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|---|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：西原24号線外1路線配水管工事(西吉田配水区)）整備事業 | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市新西原地内 | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和40年代に布設され、老朽化が著しい状況であります。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっております。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図るものです。 | | | | | |
| 補助事業の内容 | 配水管工事 DIP φ250mm L=160.5m | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年6月から令和3年11月まで | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | 計 |
| | 事業費 | 15,122,800 | 円 | | | 円 |
| | 交付金額 | 10,500,000 | | | | 10,500,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> 耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。 立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。 | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。 | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|------------|--|--|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市立病院 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・12誘導心電計 ・カーボンファイバー製手術台 ・超音波画像診断装置VolusonS10 ・内視鏡ビデオ情報システム ・各種チェッカ（人工呼吸器、電気安全アナライザ） ・電動ベッド ・POCT用遺伝子検査装置 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年8月から令和3年11月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | | 円 | | | | | 円 |
| | 事業費 | 57,519,000 | | | | | 57,519,000 |
| | 交付金額 | 55,000,000 | | | | | 55,000,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>医療機器の更新により、年間の故障回数が0回となり、故障等の発生リスクが排除された。また、最新鋭の機器が整備されたことで地域住民に対し、迅速で安全性の高い医療を提供することができた。</p> <p>整備状況について、令和4年2月号広報や当院ホームページにて、導入した医療機器の概略及び防衛省の交付金にて整備したことを掲載し、周知した。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|------------|--|--|--|--|------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連特定事業（医療に関する事業：生活習慣病対策【がん検診事業】） | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | |
| 実施場所 | 富士北麓総合医療センター（富士吉田市緑ヶ丘2丁目7番21号） 富士吉田市環境美化センター（富士吉田市小明見3丁目11-32） | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 本事業の実施により、地域住民の生活習慣病（がん疾患等）への対策を行うことができ、疾病等の早期発見ができて早期治療につなげられ、住民の健康増進を図る。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 健康増進法及びがん対策基本法に基づく各種がん検診委託 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年7月から令和4年2月まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | | 計 |
| | | 円 | | | | | 円 |
| | 事業費 | 30,724,328 | | | | | 30,724,328 |
| | 交付金額 | 17,500,000 | | | | | 17,500,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、市民が安心・安全に検診が受けられるよう、1日の来所者の対象者数を調整し、受付時間の分散、体温測定など実施し、委託機関と協議を重ね予定していた検診を実施することが出来た。また、市民から要望が多かった土日の検診を34日間のうち5日間実施出来た。働く女性が受けやすいように、乳がん検診を同時に受けられるよう34日間のうち11日間実施した。コロナ過で様々な行事等が中止となり、直接的な支援が困難であったため、多くの市民が目に見えるよう広報やHP、FB等を活用したり、国保担当と協力して個別勧奨ハガキや電話でのアプローチをより強化していったことにより、受診者数は昨年度に比べ増加したため、がん検診受診率も昨年度より増加した検診が増えた。子宮がん検診では個別検診体制で統一したが、検診対象者に受診票を個別通知することで、受診率が上がった。</p> <p><各種がん検診受診率>（R2年度の割合⇒R3年度の割合で表記） 肺がん検診（R2：6.2%⇒R3：7.4%）、大腸がん検診（6.4%⇒7.3%）、 胃がん検診（バリウム検査3.0%⇒3.0%）（血液検査5.7%⇒5.6%）、 肝がん検診（5.1%⇒6.2%）、前立腺がん検診（5.6%⇒6.2%）、 乳がん検診（6.5%⇒5.3%）、子宮がん検診（7.4%⇒8.4%）</p> <p>なお、広報及びHP、検診ポスターにて特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を記載して周知した。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 新型コロナウイルス感染症の動向を確認しながら、安心安全な受診体制、健診周知に取り組んでいく。 | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|------------|---|--|--|-----------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連特定事業（福祉に関する事業：特別支援員教育支援員配置事業） | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市内公立小中学校 | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 当市の障害者福祉計画において、妊娠、出産、乳幼児期から成人まで、障害がある人やその家族を取り巻くライフステージの変化に対して、早期発見、早期療育に向けた相談支援や生活支援などがより活用できる環境整備が必要とされている。特に学校教育の中で、人と人がともに助け合い、支え合うことに積極的に取り組み、その心を育むため、支援を必要とする児童生徒の周辺におけるサポート体制の向上に努め、将来の福祉環境の充実を図る。 | | | | | |
| 補助事業の内容 | 富士吉田市内小中学校に在籍する支援を要する児童生徒への学校生活の支援や補助を行う。また、支援を要する児童生徒が属する学級がスムーズに運営できるよう、見守りと必要に応じた支援を行うため、特別支援教育支援員を配置する。 | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年7月から令和4年2月まで | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | | | | 計 |
| | 事業費 | 23,003,886 | 円 | | | 円 23,003,886 |
| | 交付金額 | 13,030,000 | | | | 13,030,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 令和元年度より、対象児童生徒の保護者を対象に特別支援教育支援員に関する意見の聴取をしており、支援内容について90%以上の保護者が満足との結果であった。また、前年度増員した33名体制を継続し、学習面での支援を含め、よりきめ細やかな対応ができ、在籍する学級のスムーズな運営に資することができた。 さらに、当市教育委員会のホームページや特別支援教育支援員等の募集通知では、特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を周知し、ホームページ内で防衛省エンブレムを掲載している。 | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後も引き続き、現在の特別支援教育支援員の配置人数が適正であるか否か、学校訪問を実施したり、各校及び対象児童生徒の保護者からの意見を聴取し、必要に応じて配置計画等を立案し改善していく。 また、1学期中に実施する支援員訪問を通して、支援員の活動の様子や適正な支援ができているか等の確認を行い、適正な人材配置に努めるとともに、新たな人員募集を含め支援員の人材確保にも努める。 | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食費助成事業) | | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市立の各小中学校 | | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 市立学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援及び児童生徒の健全な育成を支援することを目的とする。 | | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 市立学校に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援及び児童生徒の健全な育成を支援するため、児童生徒の学校給食費を負担する保護者に補助金の交付を行うための基金造成 | | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和2年3月から令和7年3月まで | | | | | | | |
| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | | 計 | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | 事業費 | 0 | 146,858,150 | 154,357,090 | | | 301,215,240 | |
| | 基金造成額 | 交付金 | 113,958,000 | 0 | 125,164,000 | | | 239,122,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | 0 | | | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | | | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 91,166 | 25,917 | | | 117,083 |
| 計 | | 113,958,000 | 91,166 | 125,189,917 | | | 239,239,083 | |
| 基金処分額 | 0 | 40,000,000 | 40,000,000 | | | 80,000,000 | | |
| 基金残額 | 113,958,000 | 74,049,166 | 159,239,083 | | | 159,239,083 | | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校に在籍する富士吉田市の児童生徒の保護者に対し、学校給食費補助金を支給し、学校給食費の無償化を実施した。また、小6・中3の保護者に対し、アンケートを実施し、7割以上の家庭において経済的負担が軽減していると感じてることが分かった。 ・給食費無償化となり、これまで教職員が担っていた徴収事務がなくなり、教職員の事務の軽減に繋がった。 ・富士吉田市教育委員会ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せた。 | | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後においても、保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒の子育て及び健全な育成を支援することができるよう、計画的な基金運用を計画し実施していく。 | | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食センター運営事業) | | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市小明見三丁目6番1号 | | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 学校給食センターを安定的に運営することで、保育園児、児童及び生徒に対し、安心安全な給食を提供することを目標とする。 | | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 保育園児、児童及び生徒に対して、安心安全な給食を提供するため、運営費を交付金対象とし、安定的に学校給食センターを運営するための基金の造成 | | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成31年3月から令和6年3月まで | | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | 計 | |
| | 事業費 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | | 0 | 32,281,079 | 27,904,683 | 30,881,409 | | 91,067,171 | |
| | 基金造成額 | 交付金 | 60,000,000 | 0 | 0 | 60,000,000 | | 120,000,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 78,213 | 32,062 | 7,038 | | 117,313 |
| | | 計 | 60,000,000 | 78,213 | 32,062 | 60,007,038 | | 120,117,313 |
| | 基金処分額 | 0 | 20,000,000 | 20,000,000 | 20,117,313 | | 60,117,313 | |
| | 基金残額 | 60,000,000 | 40,078,213 | 20,110,275 | 60,000,000 | | 60,000,000 | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な給食を提供するために、業者からの報告書により調理食数及び衛生管理に則した業務運営を実施した。また、食物アレルギーの対応については「保護者面談記録表」などにより対応状況を確認した。 ・富士吉田市教育委員会ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せた。 ・毎月給食日より一緒に配布している献立表に防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを載せており、児童、生徒を通して保護者等に周知した。 | | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 今後においても、保育園児、児童及び生徒に対して、安心安全な給食を提供し、安定的に学校給食センターを運営することができるよう、計画的な基金運用を計画し実施していく。 | | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | | |

事業評価書

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|------------|------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 補助事業名 | 北富士演習場関連特定事業 医療に関する事業：子育て応援医療費助成事業 | | | | | | | |
| 補助事業者名 | 富士吉田市長 | | | | | | | |
| 実施場所 | 富士吉田市下吉田6-1-1 | | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 我が国の年間の出生数は、第2次ベビーブーム以降、毎年減少を続け、近年まで緩やかな減少傾向となっている。 少子化の原因の一つとして子育てに対する経済負担の増加があることから、少子化対策の一環として、家庭の子育てにおける経済負担を軽減する目的で、子ども（0歳～18歳）が病院などを利用した際の医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』を行うことで、市民にとって子育てしやすく、住み良い環境を整える。 参考指標 令和2年度 医療費助成利用者（R3.3.31現在） ・利用人数 6,262人 ・利用件数 66,382件 ・総助成金額 140,329,767円 | | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 子どもが病院などにかかったときの医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』に係る基金造成事業 | | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成24年2月から令和6年3月まで | | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | 事業費 | 85,189,898 | 96,148,779 | 88,168,791 | 91,078,000 | 98,115,396 | 102,693,793 | |
| | 基金造成額 | 交付金 | 60,000,000 | 37,398,000 | 133,821,000 | 67,700,000 | 0 | 88,000,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 60,164 | 67,828 | 133,948 | 199,035 | 101,751 |
| | 計 | 60,000,000 | 37,458,164 | 133,888,828 | 67,833,948 | 199,035 | 88,101,751 | |
| | 基金処分類 | 0 | 30,000,000 | 67,398,000 | 70,000,000 | 64,147,374 | 67,936,352 | |
| | 基金残額 | 60,000,000 | 67,458,164 | 133,948,992 | 131,782,940 | 67,834,601 | 88,000,000 | |
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 計 | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | 事業費 | 97,118,876 | 91,253,841 | 92,349,752 | 88,678,211 | 100,056,440 | 1,030,851,777 | |
| | 基金造成額 | 交付金 | 0 | 0 | 0 | 158,056,000 | 0 | 544,975,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 運用益 | | 132,000 | 87,198 | 36,483 | 30,838 | 41,330 | 890,575 | |
| 計 | 132,000 | 87,198 | 36,483 | 158,086,838 | 41,330 | 545,865,575 | | |
| 基金処分類 | 30,000,000 | 30,000,000 | 28,255,681 | 40,000,000 | 40,000,000 | 467,737,407 | | |
| 基金残額 | 58,132,000 | 28,219,198 | 0 | 118,086,838 | 78,128,168 | 78,128,168 | | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、病院の受診控えがあった昨年度よりも利用件数は約10,000件増加し平年並みの件数となった。成果として、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中においても、子育てに対する経済的負担の軽減に寄与し、市民にとって子育てし易い環境の整備づくりに貢献することができた。 令和3年度 利用人数 6,153人 利用件数 76,253件 総助成金額 159,826,660円 富士吉田市ホームページの本事業の紹介ページ及び対象者に送付する子育て支援資格者証に防衛省関連補事業であることを記載した。 本事業の紹介ポスター(防衛省エンブレム掲載)を医療機関へ掲示した。 | | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 住民への周知を徹底し、他の子育て関連事業との連携を検討するなど、市民にとって子育てしやすく、住み良い環境を整えていく。 | | | | | | | |
| 事業評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | | |